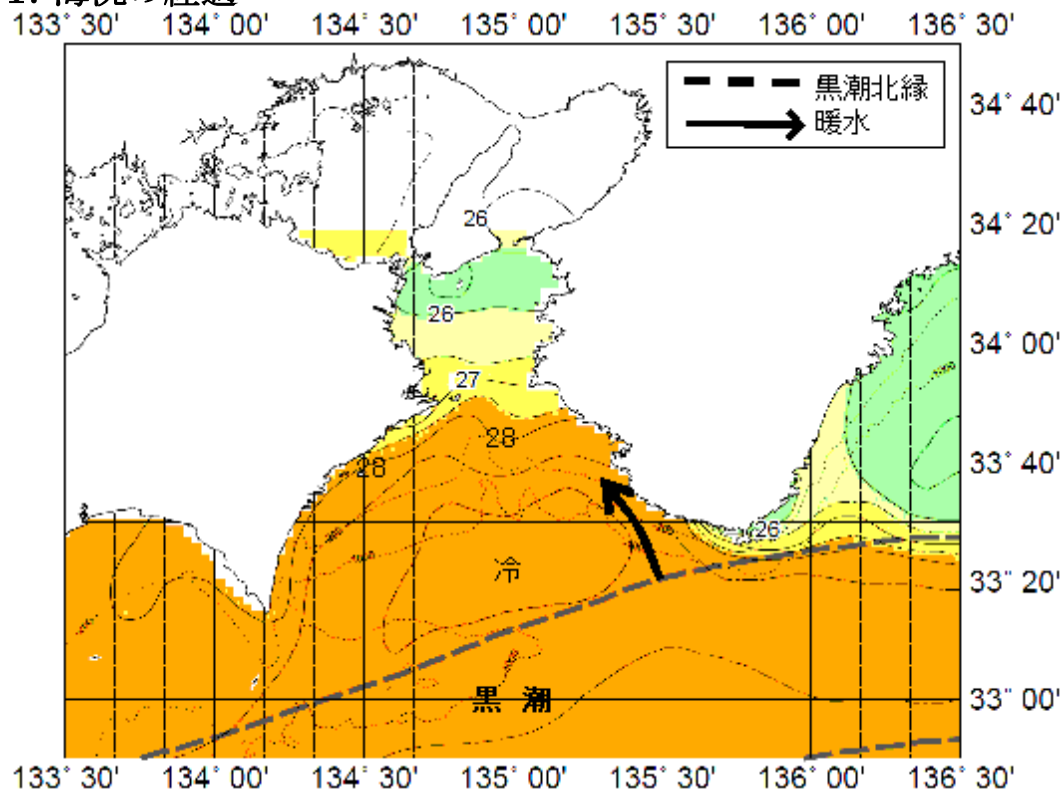


1. 海況の経過



海況

上に千葉県、東京都、神奈川県、静岡県、三重県および和歌山県が共同で作成した海況図(H21.9.7)を示した。

黒潮は、室戸岬沖でやや離岸、潮岬沖で接岸している。室戸岬以西の黒潮は、都井岬沖と足摺岬沖でやや離岸している。

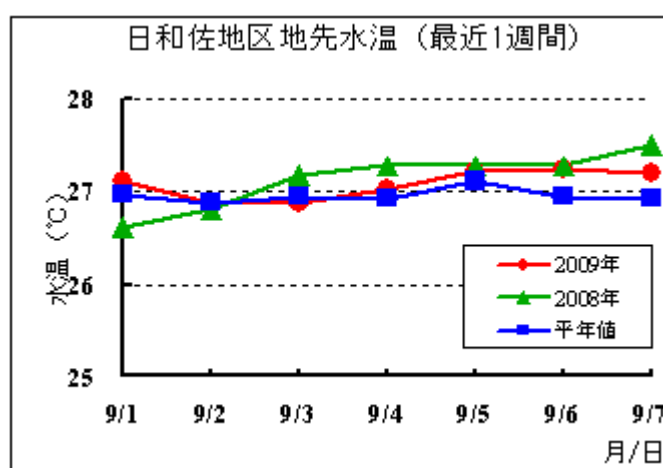
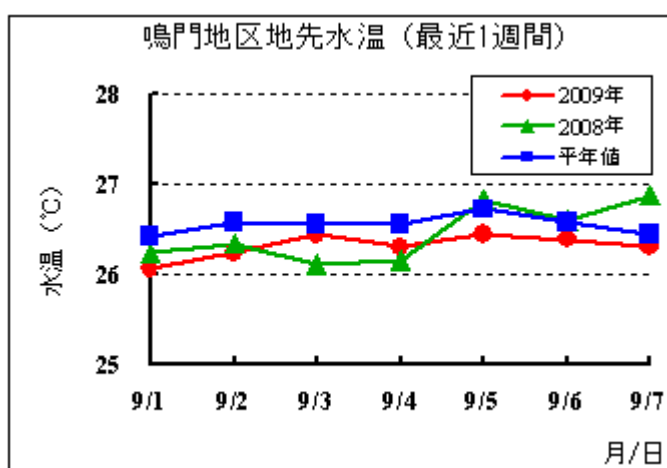
黒潮本流の表面水温は28～29℃台である。

表面水温は播磨灘が26℃台、紀伊水道で25～26℃台、紀伊水道外域で26～27℃台である。

紀伊水道外域では、潮岬西方海域から和歌山県沿岸に沿って、暖水が波及している。また、紀伊水道外域中央部では、周辺よりやや水温の低い水塊が発生している。

地先水温

最近1週間の地先水温は、鳴門地区は「平年並み」の26.1～26.4℃、日和佐地区は「平年並み」の26.9～27.2℃、牟岐地区は「平年並み」～「やや高め」の27.1～28.3℃で推移した。



2. 漁況の経過

小型定置網:海部沿岸で、アオリイカが0.3トン(1日1隻当たり10kg)、ウルメイワシが2.9トン(同0.6トン)、カマス類が0.9トン(同31kg)、キビナゴが0.9トン(同0.9トン)、小主体にマアジが0.9トン(同26kg)、マイワシが1.8トン(同90kg)水揚げされた。

釣り:海部沿岸で、イサキが0.8トン(同36kg)、マメ主体にカツオが0.4トン(同8kg)、海部沖合で、マメ主体にカツオが2.6トン(同0.9トン)、小・小小主体にキハダが1.6トン(同519kg)、紀伊水道で、中主体にサワラが0.6トン(同28kg)、特大主体にタチウオが0.5トン(同17kg)水揚げされた。

パッチ網:紀伊水道で、シラスが2.5トン(同75kg)水揚げされた。

漁業種類別漁獲量集計表(抜粋) 8月31日～9月6日 県下6漁協からの聞き取り

漁業種類	漁獲海域	魚種	延べ出 漁隻数	漁獲量(kg)	1日1隻当たり 漁獲量(kg)	銘柄・その他
小型定置網	海部沿岸	アオリイカ	27	262	10	
		ウルメイワシ	5	2,869	574	
		カマス類	28	878	31	
		キビナゴ	1	860	860	
		マアジ	35	912	26	小主体
		マイワシ	20	1,795	90	
		イサキ	23	822	36	
釣り	海部沖合	カツオ	48	369	8	マメ主体
		カツオ	3	2,627	876	マメ主体
	紀伊水道	キハダ	3	1,556	519	小・小小主体
		サワラ	20	557	28	中主体
		タチウオ	27	469	17	特大主体
パッチ網		シラス	33	2,475	75	

週間予報:

黒潮は、室戸岬で「やや離岸」、潮岬で「接岸」～「やや離岸」で推移する見込み。

地先水温は、鳴門地先は、「平年並み」の26℃台前半、日和佐地先は「平年並み」の27℃台前半で推移する見込み。

他県情報:

和歌山県では、ひき縄でカツオ1.7トン(1日1隻あたり9kg)、タチウオ0.7トン(同4kg)、定置網でカマス1.6トン(同262kg)、釣りでサバ2.7トン(同35kg)、タチウオ0.7トン(同8kg)、イサキ2.3トン(同29kg)、パッチ網でシラス1.0トン(同34kg)が水揚げされた。

*水温偏差の目安

平年並み:±0.49以下, やや高め(やや低め):±0.50～1.49, 高め(低め):±1.50～2.49, かなり高め(かなり低め):±2.50以上